

アナログ入力ユニットUL8AD、AD1ADの過電圧試験

最近よく使う稼働管理用のアナログ入力ユニットはモータの電流計測を行いしきい値を儲けて稼働/休止のレベル判断をしている。

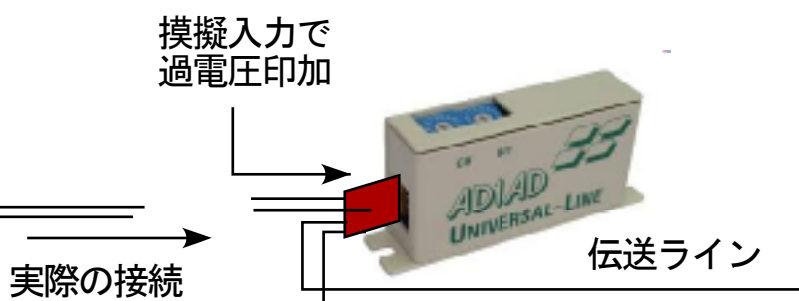
その時使うセンサーは主にURDの0-5V出力タイプのCTT-CLS-CVシリーズ

ここで懸念されるのがモーター起動電流は定格の10倍位になることもあるので起動電流出力が50Vになって当社のアナログ入力ユニットが壊れないかどうかの確認試験をした

クランプ式電流センサ
5/10/25/50/100/250/500A



定格電流で0-5Vアナログ出力
CTT-CLS-CVシリーズ
(内部に7.5Vのツエナ)



結果

UL8AD、AD1AD共に10VDCを24時間連続で印加して、その後定格内の入力電圧で連続計測しても特に異常は見られなかった

結論

この組み合わせではセンサに7.5Vのツエナが入っているのでモータの突入電流がいくら大きくても問題なく使える

内部回路

